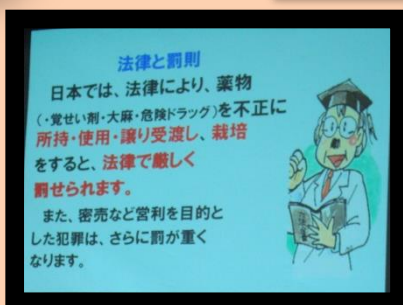
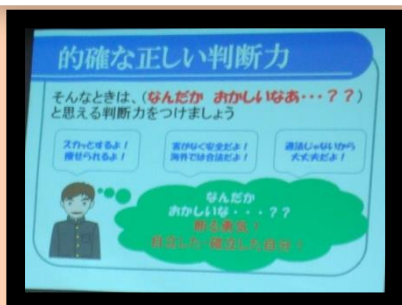


# 薬物乱用防止教育講演会

11月6日(火)7校時目に2年生対象の薬物乱用防止教育講演会を行いました。講師は加藤古市薬局の加藤哲也先生でした。講演では映像を取り入れて、薬物常用者の顔貌の変化をみせていただいたり、薬物を勧められた時の具体的な断り方を様々なケースを通じて教えていただきました。



「自分を大切に  
する  
勇気」を持ってくだ  
さい。



(保健委員が代表してお礼を述べました)

## 《生徒の感想》

- 一度薬物に手を出してしまうと、薬物依存のスパイラルにはまってしまい、刑に服しても侵された脳は戻らないということが分った。誘われても断る勇気を持ちたい。
- 薬物使用者の表情がどんどん変化し、気力を感じない風貌になることに驚いた。薬物乱用とは改めて恐ろしい物と実感した。
- 飲酒、喫煙が薬物乱用のゲイトウェイになると聞き、絶対に手を出したくないと思った。
- 自分の周りには誘われた人はいないが、今日の映像や断り方を思い出して断っていきたい。また、それに悩む人がいたら、相談にのり一緒に解決していける人でありたい。

## 人間が人間でなくなる薬物乱用の恐怖…

薬物の恐ろしさは、①依存性②耐性③精神障害を引き起こす③フラッシュバックを引き起こす点にあります。薬物は脳を破壊し、人間が人間としての考え・行動をコントロールできなくなり人格を破壊します。自分自身、友人や家族を確実に破壊することになります。

また、薬物にいったん手を出すとやめることが非常に困難できわめて難しい状態となります。後戻りすることはできず、一生薬物と付き合っていくこととなります。一人一人が薬物を正しく認識し、拒否する強い信念を持ってください。

絶対に使用しないこと！人生を踏み外さないために。

